



Title	母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究 第16号 編集後記／奥付
Author(s)	
Citation	母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究. 2020, 16
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/81825">https://hdl.handle.net/11094/81825</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』16号は、2019年度研究大会と同じく「すべての言語資源を活用した教育をめざして—各種言語教育の挑戦—」を特集として掲げ、基調講演者からの招待論文、及び、大会テーマに関連のある一般投稿論文を掲載いたしました。また、一般投稿論文は、厳正な審査を経て、上述の大会テーマに関連のある論考の他に、漢字圏に居住する年少の継承日本語話者を対象とする中国語から日本語への漢字知識の転移に関する研究論文も掲載することができました。

今号の採択率は約29%（投稿論文7本のうち2本が採択）となりましたが、不採択となった論文には、惜しくも採択には至らなかったものの優れた論考もありました。その中には英文による投稿論文も複数含まれており、広く世界へと発信しようという気概が感じられたことを特筆したいと思います。一方で投稿数が7本と比較的少なめだったことは、今後の課題として受け止めております。

審査に当たっては、複数の査読者が誠実に読み、議論を尽くして採否を決定いたしました。不採択となった論文につきましても査読者から建設的な講評を添えて結果をお返ししております。投稿者の今後の研究に役立てていただければ幸甚です。

査読に関わってくださった皆さまには貴重なお時間と労力を惜しまずにご協力くださったことに心から感謝申し上げます。また、編集に際しましては、査読者のみならず、執筆者の皆さま、湯川会長、清田副会長、校正者石丸美子氏、あおぞら印刷さまなど、多くの方々のご尽力を得ました。編集委員が不慣れなために行き届かぬ点もあったかと思います。殊に新型コロナウイルスの影響が教育現場にも及ぶ中、発刊に至りましたことに安堵しております。発刊までお支えくださった関係者の皆さまに編集委員より心から御礼申し上げます。

MHB 学会理事 紀要編集委員  
滑川 恵理子

### 母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究 第16号

2020年5月31日 発行©

発行者：母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会

MHB事務局：〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台999

上智大学短期大学部 英語科

宮崎幸江研究室内 MHB事務局

電話：0463-83-9331（代） FAX：0463-81-7809（代）

URL: <https://mhbm.jp>

印刷所：株式会社あおぞら印刷 〒604-8431 京都市中京区西ノ京原町15